



肝付町議会議長 恒吉 智彦

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。新しい年の幕開けを健やかに迎えの事とお喜び申し上げます。

さて、昨年は地球温暖化の影響からか、関東や東北地方を中心に猛威を振るった台風18号・19号そして大雨によって甚大な被害が発生し、多くの大切な命が失われ、貴重な財産が崩壊しました。お亡くなりになられた皆様に哀悼の誠を捧げると共に、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げ早急な復旧・復興が叶うことを切に願っております。

さて、昨年は元号が「平成」から「令和」に変わるという歴史的な年でした。

そして今年は56年ぶりに日本でオリンピックが開催されます。また、鹿児島県では「太陽国体」以来48年ぶりに国体が開催されます。歴史的瞬間に立ち会えることを皆様と共に感謝したいと思います。そして、この機会を有効に活用して鹿児島県全体の、そして日本に大きな経済効果をもたらされる事を期待したいと思います。

農業面においては、畜産部門で「牛」は順調に高値水準を維持しているようですが、中部地方にお

いて「豚」にアフリカ豚コレラが発生し、多くの豚が殺処分されたようであります。本県での発生は確認されていないものの、防除対策に予断を許さない状況です。1日も早い終息を願っております。また、本町農作物の主要品目であります甘藷においては、「基腐病」が発生し多くの生産者の皆様が被害に遭われました。特に鹿屋市吾平町の被害が多かったようですが、国・県・町・JAが力を合わせて農家の皆様方の生産意欲が損なわれないよう万全の対策を講じて頂きたいと思っております。

さて、一方では11月には国営肝属中部農業水利事業（畑地かんが



国営肝属中部農業水利事業完工式の様子

い事業）が完工して16日に完工式が開催されました。昭和58年に調査を開始してから、実に36年の年月を経て県営・国営合わせて約800億円近い事業がついに完工したところでございます。

これまで本事業に携わってこられた皆様のご労苦に感謝申し上げます。

今後は畑かんの水を利用して、ICTやIoT・AI等を活用した「次世代型農業」をはじめ様々な農業が展開されて、肝付地域は勿論大隅半島延いては鹿児島県全体の農業生産高の向上に大きく貢献出来る事を期待するものでございます。2元代表制の一翼を担う私ども議会としましても、行政と共に力を合わせて本町農業の発展、そして町民の皆様の安心・安全な生活を守るために、これからも議員全員が一丸となって様々な課題に取り組んで参る所存でございます。皆様には本年も議会に対しましてご理解ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、令和2年が災害のない穏やかな年となることを願いますと共に、町民の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。私の新年の挨拶とさせていただきます。